

上江とも呼ばるゝや、八九十年以前の書
もののふ十ヅセ上郡と書村山郡と書
ふゝい稀なり、百十に年以前の芝安元年山
形のある様現へ下されゝも沙来布下ゝも
言上郡とあり又寛文五年の沙来布下ゝも
言上郡とあり貞享年中より始て村山郡
山形ある様現と下されゝとを貞享以
来ハ別る文昭の世となり、（中略）史も軍板を
られをいとも流布ゝ傳ふに分言上郡を
村山郡とあり書を勘合せられゝ人あり

て沙来布下ゝ村山郡と改めゝゝ
三代実録五十三巻仁和三年に月二十日
条下に言上郡大山御保室志那と有、（上略）
足とあれゝ、（中略）仁和三二年
先の事とて村山と改めゝゝ、（中略）は那
出羽府を嫁さんといふより奏ゝゝゝ
なり、（中略）勅許なり、（中略）一の
巻に記ゝ傳れば、（中略）に果てゝ、（中略）言上
郡左國南有山而隔白河通とあり、（中略）は
出羽郡の府より大山々のす角を括ゝゝ
詞なり、山形の地出羽府より南に當り地